

施政方針（抄）

今年、市制施行120周年、安政の開港から150周年を迎えます。この節目となる記念すべき年に長崎の特異な歴史・文化などの魅力を提供し、その魅力を再発見できるような様々な取組みを行うこととしています。

私は、「現在」と「未来」の視点をもとに施策の選択の重点化を図る指針として、「個性的なまちをつくる」「みんなでまちをつくる」「暮らしやすいまちをつくる」という3つの方向性を示し、これを具体的にイメージする中で、長崎をより磨き、世界のどこにもない魅力的な都市を目指すということを強く意識して、平成21年度を「長崎化」と「市民力チャレンジ」の年と位置付けました。

「長崎化」とは、長崎の歴史、文化、市民性、地理・地形などを強みとして最大限に活かし、長崎の個性をより磨いて、個性的なまちをつくることです。グローバル化の時代の中で、より「長崎化」すればするほど、より際立つまちになり、世界のどこにもない魅力的なまちになります。

平成21年度は、世界遺産、龍馬伝、平和市長会議総会など「長崎化」を進める上で、新たな原動力となる要素が多くあるチャンスの年です。この機会を捉えて、より長崎の個性を際立たせ、ステップアップするために、もっと「長崎化」することを意識して取り組むスタートの年にします。

長崎には、自分たちのまちは自分たちでつくるという意欲を持った人や、その力を発揮したいと思っている人がたくさんいます。これらの人たちのエネルギーを、まちづくりのパワーとして発揮してもらうためのきっかけづくりやサポートする仕組みづくりが求められています。これまで以上に、多くの市民や企業などに参加してもらい、その潜在力、あるいは本来の力を活かして一緒にまちづくりを進めていきます。

平成21年度は、市民のパワーを最大限に活かすための先導的な取組みを行いながら、長崎にあった協働を生み出していくチャレンジの年にします。

議員提出議案

2月定例会において議員提出議案の条例改正1件、意見書3件、附帯決議1件及び決議1件を可決し、意見書については、関係行政庁及び国会に提出しました。

意見書

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

重粒子線治療施設の設置を求める意見書

「協同出資・協同経営で働く協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書

◎長崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例

今回の改正は、次の一般選挙から議員の条例定数を44人から40人に減員するものです。長崎市議会では議長の諮問機関として、議会制度改革推進会議を平成20年7月に設置して、議員定数のあり方等について調査・検討を行ってきました。

その結果、同会議は議長に対して、平成20年11月に「議員定数については、将来人口動向や本市の厳しい財政状況を踏まえ、より積極的に行政改革に取り組むべきとの立場から、従来の人口1万人に対し議員1人から、人口1万1千人に対し議員1人として、現在の条例定数44人から4人を減員し、40人とすべきであるとの意見が多数を占めた」との中間答申を行いました。

議長は、これを受けて、平成20年12月に開催された議会運営委員会に議員定数を40人に見直すことを提案し、同委員会の協議の結果、今回の見直しに至ったものです。

2月臨時会の会期日程及び議決結果

平成21年第1回臨時会は、2月10日に開かれ、市長提出議案2件について、審議決定しました。

これは、長崎市緊急経済対策として、国の「生活対策」及び「生活防衛のための緊急対策」に伴う地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金事業費などについて予算の補正を行ったものです。

その他に、専決処分の報告5件などがありました。

2月10日	〔本会議〕	○議案上程・委員会付託
	〔常任委員会〕	○付託案件審査
	〔本会議〕	○委員長報告・議案等結審

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第1号議案	平成20年度長崎市一般会計補正予算（第5号）	所管の各常任委員会	原案可決
第2号議案	平成20年度長崎市水道事業会計補正予算（第4号）	建設水道委員会	〃